

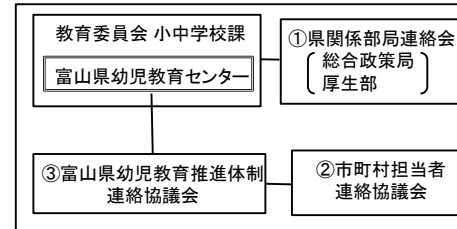
1. これまでの取組の成果と課題

(1)関係機関等との連携・体制づくり

- ①幼児教育県関係部局連絡会議（4/10、5/10、5/29、6/17開催）
（総合政策局担当者、厚生部担当者等）

・研修内容の検討、訪問研修の企画・調整等

- ②幼児教育市町村担当者連絡協議会（5/10、7/11開催）
（市町村幼児教育担当者、総合政策局・厚生部・教育事務所・総教セ担当者）
・幼児教育の質の向上に向けた推進体制の在り方の検討等



- ③富山県幼児教育推進体制連絡協議会準備委員会（11月、2月開催予定）⇒令和2年度 連絡協議会の設置
（幼稚園・保育所等の団体代表、市町村代表者、大学教授等）
・令和元年度から実施している私立幼稚園等に対する訪問研修の実績等を踏まえ
⇒幼児教育の在り方、取組みの方向性等について検討

(2)幼児教育の質の向上

- ①幼児教育スーパーバイザー・アドバイザーによる訪問研修(2019年度：24園・所を訪問予定)
…14園実施（10/15現在）

【訪問研修の成果と課題】

- 訪問研修が園の研修体制の充実につながる。
- 訪問研修により内部、外部から評価され、自信に結びつく。
- 目指す姿、育みたい姿の具体について考える機会となる。
- △研修会の時間の確保や研修会参加者の増員
- △研修会のもち方や進め方の浸透

＜県内の幼児教育施設＞

- ②市町村推進リーダーの育成(2020年度～)⇒3年間で60名養成⇒3年に1度の訪問研修を実施

○市町村推進リーダー育成に係る調整

- ア 市町村担当者による協議（市町村推進リーダー候補の推薦、訪問研修における協力）
- イ 幼児教育団体との協議

③幼小の円滑な接続

ア 幼小接続カリキュラムの改訂委員会の開催⇒「わくわく・きときと」カリキュラムの改訂
（委員：若山育代富大准教授 外11名）（第1回7/31、第2回8/28開催、第3回11/11、第4回12/17開催予定）

イ 地区別幼小接続研修会の充実（小学校教育関係者、幼児教育関係者）
・4地区ごとに、幼小の円滑な接続について合同研修
（新川地区11/26、富山地区11/27、高岡地区11/20、砺波地区11/22）

- ④「幼児教育・小学校教育合同フォーラム」の開催（10月21日 小杉文化ホール ラポール）
・講演「幼児教育を通して育成する力とはー非認知能力をめぐるー」：白梅学園大学 無藤 隆教授
・パネルディスカッション
コーディネーター：富山短期大学 宮田 伸朗学長
パネリスト：幼稚園、保育所、小学校等の代表

⑤公民館での自然体験活動、親学び講座等

○親学び講座の実施状況

- ・H28～ 幼稚園、保育所等で実施⇒H30…約3,600人受講 ＜全体35,000人＞
- ・R元～ 0歳児～未入園所児保護者まで拡大 県内4カ所の子育て支援センターにて実施

2. 来年度の取組の方向性

(1)関係機関等との連携・体制づくり

幼児教育の質の向上のためには、関係団体や市町村、県の担当部局との更なる連携が不可欠

①富山県幼児教育推進体制連絡協議会の開催(2回)

②幼児教育市町村担当者連絡協議会の開催

③幼児教育関係部局連絡会の開催

(2)幼児教育の質の向上

① 園・所の研修の充実、保育者の資質向上、あるべき幼児教育の指導の改善のために、幼児教育アドバイザー、スーパーバイザーによる訪問研修の実施
（訪問園・所数の拡大）

②教育要領、保育指針等に沿った教育を推進し、幼児教育の充実を図るため、市町村推進リーダーの育成が必要
（市町村推進リーダー育成研修の実施）

③ 子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼児教育と小学校教育の円滑な接続が重要
（幼小接続カリキュラムの周知・活用、接続カリキュラムを活用した実践研究・地区別幼小接続研修会の充実）

④意欲や協調性、問題解決能力といった非認知能力の育成に取り組むためには、保育者等や保護者への啓発が重要
（非認知能力の育成に関するフォーラムの開催、具体的指導事例を記載したリーフレットの作成・配布）